

# 常任委員会の重点調査テーマが決定!

取手市議会には、3つの常任委員会が置かれています。

それぞれの委員会が重点調査テーマを決め、2年間の任期の中で調査・研究を進めていくことになりました。それぞれの委員会の所管事項と重点調査テーマをご紹介します。

## 建設経済常任委員会

### 【所管事項】

土木・建築・都市計画・上下水道・環境・経済・競輪に関する事項

### 【重点調査テーマ】

取手駅前西口開発をメインとした「駅前のにぎわい創出」

◆4月26日には、土浦市役所(土浦駅前ビル「ウララ」内)と、図書館機能を有する「アルカス土浦」を視察しました。取手市は図書館を核とした複合公共施設を取手駅西口前に整備する方針で、その調査の一環として視察を行いました。



土浦市役所で説明を受ける委員  
(建設経済常任委員会)



## 総務文教常任委員会

### 【所管事項】

総務・財務・教育・消防に関する事項、他の委員会の所管に属しない事項

### 【重点調査テーマ】

災害時の避難所運営

## 福祉厚生常任委員会

### 【所管事項】

健康・福祉に関する事項

### 【重点調査テーマ】

保育士や保育教諭、幼稚園教諭の処遇改善



252号

取手市議会だより

# ひびき

令和6年7月15日

第2回定例会の討論

音声テック関連技術提携協定を締結

2・3ページ

第2回定例会の議決結果

議員と市民の意見交換会を開催しました

4ページ

発行・編集責任者:取手市議会議長 岩澤 信  
発行:取手市議会 編集:取手市議会事務局  
住所:〒302-8585 茨城県取手市寺田5139  
電話:0297-74-2141  
メールアドレス:gikai@city.toride.ibaraki.jp  
Web版ひびきは、右の二次元コードから



市長提出議案

白山小学校長寿命化改良工事(第3期)・高井小学校校舎増築工事請負契約の締結 …可決

入江議員…白山小学校の校舎は老朽化が進行し、安全面や教育環境の低下などが懸念されていたが、校舎の長寿命化改良工事を行うことで、建物の耐久性が高まる。また、高井小学校は、児童数の増加などから教室数の不足が懸念されているが、増築工事を行うことで、令和7年度以降の児童数の増加に対応する教室数の確保ができる。いずれの事業も児童にとってよりよい教育環境を提供でき、これからの未来をつくる児童生徒に安全安心な学校生活を提供するために必要な事業であると評価。賛成。

遠山議員…白山小学校を訪問したところ、特別支援学級の環境が改善されることが確認できた。高井小学校については、児童数の増に伴うクラスの増設について、学校現場の声にいち早く対応するということが確認できた。賛成。



第2期工事により校舎が増築された白山小学校  
(写真左側の校舎は第3期工事で改修予定)

地域包括支援センターの運営及び職員等に関する基準を定める条例の一部改正 …可決

〔内容〕 地域包括支援センターの職員配置基準の見直し等

遠山議員…地域包括支援センターは、介護保険事業の要。人材不足に対して柔軟に職員の配置基準の見直しを行う改定案について、市も臨機応変に対応していることは評価するが、同一労働・同一賃金で、あくまでも正規職員の配置で行うべき。反対。

久保田議員…地域包括支援センターは、高齢者の尊厳の保持、自立生活の支援を目的とし、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる支援の構築を推進している。市は主任ケアマネジャー、保健師、社会福祉士の3職種、1名ずつという基準について、5か所の支援センター全てで満たしている。今後もこの体制が維持され、市民が安心して暮らせることを念願する。賛成。

茨城県後期高齢者医療広域連合規約の変更 …可決

〔内容〕 マイナンバー法の改正により、現行の被保険者証が発行されなくなることに伴う規約の変更等

遠山議員…マイナ保険証の利用率は1割にも満たない。また、マイナンバーと健康保険証のひもづけミスで、別人のデータが誤って登録されたケースは計9,207件と公表された。医療現場でのマイナンバートラブルは多岐にわたり、厚生労働省が対策したトラブルも一向になくなっていない。保険証を廃止すれば医療現場がさらに大混乱するのは必至。反対。

根岸議員…マイナ保険証導入は準備が整っておらず、時期尚早である。保険証をマイナンバーカードに登載することで、カードを持ち歩かざるを得ず、紛失やスキミングなどによる不正使用の恐れが高まる。医療機関においても、マイナ保険証と従来の保険証、来年には資格確認書の3つを併用しなければならず、事務処理にかかる負担が目に見えている。反対。

令和6年度一般会計補正予算(第3号) …可決

〔内容〕 こどもまんなか社会の実現に向けた事業、保育所運営法人選定委員会委員謝礼、放課後子どもクラブの開所時間拡大、児童手当拡充に伴う経費、新型コロナウイルスワクチンの定期接種に必要な経費、防災行政無線拡声装置付替業務経費等

落合議員…双葉三丁目付近の防災行政無線が聞こえないエリアに整備されるボックス型高性能スピーカーは、明瞭度の高い放送が可能となり、約580メートルの遠方までクリアな音が届くもの。今回の整備により、双葉地区の地域防災力の一層の向上につながることを期待する。賛成。

こづみ  
小堤議員…こども計画策定に要する経費、緑地等維持管理に要する経費、災害復旧に要する経費、アートのあるまちづくり推進に要する経費について、整備工事、復旧工事、将来のために今すぐ実施しなければならない事業など、市民の安全安心の確保や市全体の明るい未来を構築するためにまさしく今必要な予算である。賛成。



取手市は、「こどもまんなか応援サポーター」として、「こどもまんなか」に全力で取り組んでいくことを宣言

岡口議員…民間保育園運営に要する経費について、多くの方々から駅近くに保育園をという声が届いている。子育て世代が働きながら安心して子どもを預けられるよう、様々なニーズに合った質の高い保育サービスの提供が望まれ、社会全体で支え合う体制の構築が必要である。賛成。

金澤議員…保育の質の向上、保育士の処遇改善や人材確保という観点から、しっかりとこども政策を進めてもらいたいと考え、委員会で質疑した。魅力ある保育施設が運営されることで、潜在的保育士の掘り起こしで人材が増加し、さらには駅前の施設ということで、通勤の利便性から人材の流入があると見込んでいるとの説明があった。議会や市民に丁寧に説明をしながら、この重要政策を前に進めてもらいたい。賛成。

遠山議員…取手駅前に民間保育園を整備する計画について、大切な子どもたちにとって窓や庭のない保育園はどうかという質疑に対し、市からは子どもたちの環境もしっかり検討していきたいという共通認識を持った説明を受けることができた。地域住民の若い子育て世代の人たちの、保育所を駅前にという要望も否定はできない。賛成。

請願

取手駅西口再開発事業に係る「図書館等複合公共施設整備計画」基本構想に関する請願…不採択

〔提出者〕 取手駅前開発を考える会  
遠藤 俊夫ほか592人

紹介議員…遠山 智恵子

〔請願事項〕 取手駅西口再開発事業に係る「図書館等複合公共施設整備計画」基本構想は、市民の声を十分反映し、将来を見据えたしっかりした図書館行政計画に基づいたものとする

かぞ  
加増議員…図書館をつくるには、市民の声を十分に聞き、将来を見据えた図書館行政に基づくべきというのが請願の願意。図書館構想と計画もなく、専門機関での検討を行わずに、取手駅前への図書館移転計画を発表することは、行うべき行政ルールが守られていない。駅前再開発事業は、公共施設導入ありきで拙速に進めるべきではない。賛成。

細谷議員…図書館についての希望はよく分かるが、今、問われているのは、再開発ビルに入れることの是非である。このことについて語られてなく、この請願を検討しようがない。また、図書館の移転にあたっては、どのような図書館をつくっていくのかということは、図書館協議会など様々な手続きを取らなければならないと思われ、現在この取手駅西口について進められている再開発ビルの議論と、この請願は全くなじまない。反対。

取手駅西口A街区再開発事業の再検討を求める請願…不採択

〔提出者〕 取手駅前開発を考える会  
遠藤 俊夫ほか583人

紹介議員…遠山 智恵子 ほか1人

〔請願事項〕  
1 取手駅北土地区画整理事業は速やかに完了（基盤整備工事と地権者の使用収益の開始）させること。  
2 A街区再開発事業は、再開発ビルへの公共施設整備計画の可否を含め市民の意見を十分聴取し、図書館協議会や教育委員会にきちんと諮るなど、必要な手続きを踏み、市の財政支援は適切なものとなるよう配慮するなど、事業計画を再検討すること。

加増議員…市は図書館等複合公共施設整備計画を発表したが、80億円もの公金を投入する計画であり、図書館の目的・在り方などを教育委員会や図書館協議会などに諮ることは当然であり、その手続きを踏まず市広報に発表した。この請願は、再開発ビルへの公共施設整備計画の可否を含め、市民の意見を十分聴取し、必要な手続きを踏み、財政支援が適切なものとなるよう再検討を求めるもの。賛成。

細谷議員…請願者は8名の地権者への多額の公金投入はおかしいと言うが、共同ビルの一部を使って、滞留性、回遊性白山に抜ける便利な空間をつくっていくことが西口共同ビルのコンセプトであり、地権者の問題ではなく10万市民が利用するもの。公金も、決められた制度・比率であり、不公平なことではない。駅前ににぎわいのあるものにできるかを十分考えてほしい。反対。

音声テック関連技術連携協定を締結

令和6年4月1日、株式会社アドバンスト・メディア社と取手市議会・取手市の3者で、音声テック関連技術連携協定を締結しました。これまで3者は、令和3年4月に音声テック関連技術連携協定を締結し、同社が有するAI音声認識等の技術により、取手市議会が取り組む「デモテック戦略」をより充実させるとともに、議会をはじめとする行政事務の効率化等に関するICT化への技術開発に、令和6年3月31日までの3年間にわたって取り組んできました。この間も日々進化を続けてきた生成AI技術をはじめとした時代の変化にあわせ、その変化に即したものに発展させるため、このたび、内容を見直した上で、新たに令和6年4月1日から令和7年3月31日までの1年間の協定を締結しました。



協定を結ぶ岩澤議長(左)と株式会社アドバンスト・メディア大柳取締役(中央)と中村市長(右)

◆各議員の一般質問については、市の議会報ホームページをご覧ください。

市議会だより「ひびき」 検索



取手市議会だより「ひびき」第252号  
(令和6年7月15日発行) 一般質問ページへの二次元コード

